

# 受講生の声

職業、世代など生活背景の全く違う人々の集まりなのに違和感がなく、本音で付き合える仲間と出会う場所。学生も社会人もみんなの声が自然に通る「アカデミア空間」はみんなが元気をもち帰る、貴重な場所でした。今でも共に学んだ仲間は宝です！

横山葉子 (NGOスタッフ 1期生)

社会に発信する能力、あらゆる問題に敏感になる感覚、問題の根底や裏にあるものを知ろうとする力。アカデミアでは、それを養う上での貴重な経験ができ、刺激しあえる仲間とも出会えた。社会や大学にいてさえも感じる周囲の病的無関心や知的亡国の不安を忘れさせてくれる唯一の場が、ここにはあった。

石黒秀典 (学生 11期生)

教員になって十数年、学校を飛び出して、一人の市民として学び、活動してみようというアカデミアへ。誰かに何かを授けてもらうのではなく、自分から仲間を作り、話を聞きたい人に会い、共に一歩を踏み出すことの心地よさと難しさ。18歳の大学生も40代の社会人も「私」に戻って円くなって座る。それがアカデミア！

村村みね子 (教員 4期生)



堀内聡子 (学生 9期生)

アカデミアは仕事も年齢層も様々、多種多様な人達と自由に議論し、色々な人の考え方が聞ける場所。私自身も学生時代と変わった自分を見ることができました。アカデミアは自己発見・再認識の場になるのではないのでしょうか。

鈴木勝 (育林塾 5期生)

国際協力や地球環境などの諸問題、はたまた人間について、講義とワークや体験を通じて、アカデミアならではの世界観が展開されます。世間ではマイナーなことがここではメジャーなこと。同じ時間を共有し、共に考える仲間に出会うために、是非、飛び込んでみてください。

志津安紀 (市役所職員 8期生)

大人になったからこそ、学べる環境を自ら作るのが大切な気がする。自分の意志で学ぶことほど、楽しいことはない。世の中が見えてくる。すべてがつながっているってことを感じられるようになる。アカデミアはそれを気づかせてくれた場所。

韓朱仙 (NPOスタッフ 12期生)

一枚のちらしをきっかけに参加しました。受講生のときも修了生となってからも、大事な出会いをずっといただいています。さらなる「アカデミアつながり」の広がりに期待しています。

北島砂織 (国連機関 ナパール在住 3期生)

仕事をしているうちに凝り固まってしまったものの見方、生き方などを一旦壊して再構築する機会を与えてくれた場所。講師からはもちろん、受講生や運営委員との関わりの中で気づくことが多かったです。グループで作成した「たばこ」教材は大阪のコンテストで入賞！現在も教材に改良を加えながら活動中。

杉本伊知郎 (会社員 6期生)

地球市民アカデミアって、どんなところ？



## 企画・運営 第13期地球市民アカデミア運営委員会

〒107-0052 東京都港区赤坂8-8-2-103 NPO法人 アジアヒューマンサポート気付(担当:山村)

E-mail office@academia-gc.org FAX 03-5775-7596 TEL 03-5775-7628 URL <http://www.academia-gc.org>

(HPからも申込書が入手できます)

～地球市民アカデミアは修了生が企画・運営し

さまざまな団体の協力を得ながら、広いネットワークの中ですすめられています～

### 協力・後援団体

#### (準学) アジア学院

アジア・アフリカ諸国からの研修生が、食糧生産の基本、農村生活改善、よりよいコミュニティづくりを、生活体験を通して学んでいく農村指導者養成校です。

#### (社) 協力隊を育てる会

民間の立場から青年海外協力隊事業への理解を深め、協力隊活動に対する支援の輪を広げることを目的に、情報誌の発行や各地で国際理解セミナー等を行っています。

#### 東京YWCA専門学校

半世紀以上にわたり、社会の中で自立できる人づくりを目指し、実践的な教育を提供しています。社会福祉科は、福祉分野でのパイオニアとして高い評価を得ています。

#### アジアヒューマンサポート

「体感支援」「循環支援」をモットーに、ベトナムへのスタディーツアー、チャリティイベント、留学生との船上サミット等の企画・運営、またレッドバンドへの支援等を行っています。

#### (特活) 開発教育協会 (DEAR)

公正な地球社会をめざす開発教育を推進するためのネットワーク組織です。国内外の教育の情報収集・発信(教材づくり)、政策提言、調査研究等を行い、世界と学びの場をつないでいます。

#### (特活) 国際協力NGOセンター (JANIC)

地球的諸課題に取り組む市民組織NGOの活動支援を目的に、NGOに関する情報収集・提供、広報、調査研究、人材育成、国内外のNGOとのネットワークを進めています。

#### 東京ボランティア・市民活動センター

都内のボランティアやNPOに関する情報提供や相談などを通じて、都民のボランティア・市民活動を支援しています。調査、研修、会議室貸出、活動助成も行っていきます。

世界につながる学びの場

2006年度 第13期

# 地球市民アカデミア

21世紀の地球社会  
あなたはどうか生きていますか？

## 第13期生 募集要項

- 開催期間 2006年5月～2007年3月(全17回/合宿3回、公開報告会含む)
- 募集対象
  - ・国際協力やグローバルな問題に関心がある人
  - ・地域社会や身近なところから何かを始めたい人
  - ・原則として全回参加できる人
  - ・18歳以上の人 ・他の受講生と協力しながら受講できる人
- 定員 35名(先着順)
  - ※定員に達しない場合、開催を中止する場合があります
- 参加費用 54,800円(学生のみ分割払い可 応相談)
  - ・登録費、受講料、資料代、後期グループ活動費等が含まれます
  - ・合宿費用は別途かかります
- 会場 東京YWCA(東京都千代田区神田駿河台1-8)
- 募集締切 2006年4月30日(日)必着
- 申込方法 所定の用紙に必要事項(氏名、住所、電話番号、所属、志望動機)をご記入の上、下記までお送り下さい。E-mail、FAXでの申込みも可。

### 会場案内図 (東京YWCA)



●お申し込み・お問い合わせ「第13期地球市民アカデミア」事務局  
〒107-0052 東京都港区赤坂8-8-2-103 NPO法人 アジアヒューマンサポート気付  
E-mail office@academia-gc.org URL <http://www.academia-gc.org>  
FAX:03-5775-7596 TEL:03-5775-7628

# 『地球市民アカデミア』とは

貧富格差の拡大、地球環境危機の高まり、文化間の対立など、私たちを取り巻く状況はますます深刻化しています。そのような状況に対して、私たちは一人の地球市民としてなにができるのでしょうか。「地球市民アカデミア」は、国際協力や身近な地域での活動を通じて世界への働きかけを志す人々のための新しい学びの場です。

## <同時代を共に生きる地球市民>

国際協力や開発援助に関する様々な意見がありますが、異なった社会状況の中、厳しい条件の下にある人々と共に生きようとするのは、学問の枠におさまるものではありません。これからの地球社会に求められているのは、国内外で経済社会的に困難な環境におかれている人々を援助や研究の対象として見るのではなく、同時代を共に生きる人間として理解し合い、共感できる力と感性を持った地球市民なのです。

## <地球市民アカデミアがめざすもの>

この講座では、将来国際分野や私たちの地域社会での活動を志す者が、現在の社会状況を正しく理解し、必要な知識やものの見方を学ぶと同時に、実際に国際協力や地域活動に携わる人々の経験に学び、活動への訪問などを通じて自ら選んだテーマを追究し、現実感のある学びを創り出します。そして、なぜ国際協力や地域活動が必要と考えるのか、どう関わりたいのか、何ができるのかを深く掘り下げながら、自分自身の価値観を問い直し、これからの社会を創っていく上で大切な他者との協力関係の築き方を学んでいきます。

## <共働学習による新しい学びのスタイル>

身近な環境から地球全体までにおける、私たちの持つ思いや理想を実際に行うには知識や情報を身にまとうだけでなく、それらをメッセージやアクションに変えていく必要があります。そのためには、実体験や試行錯誤を通じて、異なる背景や意見を持つ受講生同士が互いに学び合う場が必要となります。「地球市民アカデミア」は、そんな今までにない新しい学びのスタイルを提案しています。

## 「地球市民アカデミア」の流れ



## 地球市民アカデミアは今年で13年目を迎えました!

13年目を迎える地球市民アカデミアは、多岐のオプション企画を予定しています(実費負担)。修了生を誘惑するスタディツアーやさまざまなテーマに合わせたフィールドワーク、国内スタディツアーの実施、修了生たちの集まりである「アカデミア・ナッツ」関連イベントなど、多くの人と交流する機会が盛りだくさんです。もちろん13期生の皆さん自身が自立的に企画しても結構です。学びの場としてのアカデミアを是非、最大限に活用してください。



## 1 オリエンテーション合宿

『いのちのつながり、共に生きること』

5月26日(金)夜~28日(日)  
 於:アジア学院(栃木・那須塩原)  
 講師:高見敏弘氏【アジア学院創設者/地球市民アカデミア校長】  
 野崎威三男氏【アジア学院校長】

学びの始めに、土や緑、「いのち」に触れるひとときを過ごします。この合宿では、新しい仲間との出会い、農作業、アジア・アフリカ諸国からの研修生との交流などを通じて、これから1年間何を学ぶかを共に考えます。



## 7 『自分の住む街』

9月23日(祝・土)  
 佐野淳也氏【】

内外の問題に関心を持ち、活動をしている私たちは社会の中でどこにいるのでしょうか?まちづくりの取り組みを通じて、自分と自分の住む街との関わりを考えます。

## 8 秋合宿

『新たな広がり。仲間と共に。』  
 10月7日(土)~8日(月)  
 講師:石川一喜氏【拓殖大学講師】

多様な価値観・スタイルをもつ私たち。そんな私たちがグループで活動を行うことの意味は何でしょうか?この合宿では、後期へのステップとしてグループワークについて考え、共働学習のグループ作りを行います。



## 2 『地球市民、国際協力、開発教育』

6月3日(土)  
 講師:田中治彦氏【立教大学文学部教授/開発教育協会(DEAR)代表理事】

地球上の諸問題に対し、市民が草の根レベルで出来ることはあるでしょうか?また、「国際協力」という言葉を口にすると、「相手」のことを私たちはどのように考えているのでしょうか?開発教育の視点でまず、考えてみます。

## 第13期 地球市民アカデミアカリキュラム

合宿以外の受講日はいずれも  
 土曜日13:30~17:00です

## 6 『行動する市民 ~事業を通じて社会をプラスに~』

9月9日(土)  
 講師:吉岡淳氏【カフェスロー代表】

私たちは1人の市民としてどう社会に関われるのでしょうか?事業というスタイルで行動を起こしている講師の話から、市民がどのように社会をよりよく変えていけるかを考えます。

## 9~15 共働学習

10月21日、11月4日、11月18日、  
 12月2日、12月16日、1月14日、  
 1月28日  
 (いずれも土曜日)

グループ内での学びを通して、共に協力することを体験します。自分自身のテーマを明らかにした上で、グループごとのテーマを確定し、共働作業に入ります。NGOへの訪問、イベントの企画や国際教育教材の作成など、各グループ独自の活動を展開します。

## 17 公開報告会 3月

あなたはこの地球市民アカデミアで何を考え、何を学びましたか?仲間たちと共有したことを、今度はあなたの周りの人々へと広げてください。公開報告会は、あなたの得たものを社会と共有するチャンスです。

## 3 『国際化時代における多文化コミュニケーション』

6月17日(土)  
 講師:ベマ=キャルボ氏【桐蔭横浜大学・大学院教授/チベント文化研究所名誉所長】

国際化という言葉だけが先行している感のある日本は、外国からどのような国に映るのでしょうか。多文化コミュニケーションという視点から、国際化とは何かを考えます。

## 4 『メディア~発信する側の論理~』

7月1日(土)  
 講師:内藤陽介氏【郵便学者/切手の博物館副館長】

切手には発行国の政策やイデオロギーが反映されています。普段目にする切手や郵便から、発信する側が何を訴えようとしているのかについて知ることで、情報の受け手としてのあり方を考えます。

## 5 『貧困~見えていない社会、見えていない社会~』

7月15日(土)  
 講師:西澤晃彦氏【東洋大学教授】

豊かな国と言われる「日本」、その豊かな日本の中に隠された貧困の実態。日本のホームレス問題を通じて、貧困がなぜ生れるのか、その根源を問うとともに、貧困の構造をどうしたらかえられるのかについて考えます。

## 16 プレゼンテーション合宿・修了式

2月11日(土)~12日(日)

この合宿では、約9ヶ月間にわたる学びやグループ活動の成果を互いに発表し合い、共有します。今までのあなたとどう変わっているのでしょうか?修了式を経て、地球市民としての次なるステップへとつなげていきます。

